

ゴジラ対(つい)サガ

『ゴジラ in 佐賀 ダムアートプロジェクト Powered by ケルヒャー』

ダムアート制作披露会を開催

宇垣美里さん登壇 “ダム愛”を初告白！

「実はダムカードを貰うのが好きで、収集癖を刺激します！」

2024年11月15日

ケルヒャー ジャパン株式会社

清掃機器の最大手メーカー、ドイツ・ケルヒャー社の日本法人、ケルヒャー ジャパン株式会社（本社：神奈川県横浜市港北区、代表取締役社長：大前勝己）は、佐賀県の情報発信プロジェクト「サガプライズ！」の一環として展開する新プロジェクト「ゴジラ対(つい)サガ」の始動を機に共同で立ち上げたプロジェクト『ゴジラ in 佐賀 ダムアートプロジェクト Powered by ケルヒャー』において、佐賀県内にある岩屋川内ダムの完成 50 周年を記念し、ダム自体をキャンバスに、ケルヒャーの高圧洗浄機を用いて、ダムの汚れを洗浄する事で壮大なゴジラのアートを描くダムアートを手掛けています。この制作プロセスを披露する為に、11月15日(金)に制作披露会を開催しました。

当日は、ゲストにフリーアナウンサー・俳優である宇垣美里さんをお招きし、実際にダムアートで使われる洗浄機材を用いたダムの洗浄体験や、今回のためにドイツから来日した、世界遺産のクリーニングや世界中でダムアート作品を数多く手がけている、ケルヒャー本社の特別チームがダムアート制作パフォーマンスを披露しました。



「実はダムカードを貰うのが好きで、収集癖を刺激します！」宇垣さんがダム愛を初告白

フリーアナウンサー・俳優の宇垣美里さんは、これまでに全国12か所のダムを訪れ、ダムカードを集めるなど、実はダムの鑑賞が趣味の「ダムファン」である意外な一面をお持ちです。今までとは違ったダムの魅力を感じていただくために、宇垣さんを今回ダムアート制作披露会にお招きしました。

宇垣さんには、実際のダムアートで使用される洗浄機材を操作したダムの洗浄体験を行っていただきました。「かなり体幹を使ってぐっと踏ん張っています、家庭用と違いますね」と初めて触れる高圧洗浄機の迫力についての感想を述べました。体験直後は「もともとこんな色だったのかってびっくりするくらい、しっかりと違いが分かります。」と洗浄力について驚きを隠せない様子で体験を語りました。

その後のトークセッションでは、宇垣さんのダム愛についてより深くお話を伺いました。「実はダムが大好きで、こんな近くで見える仕事があって、ほくほくしている。」と、岩屋川内ダムに初めて訪れた喜びをお話いただきました。また、ダムを好きになったきっかけについては、「元々人工的に作られた大きい建築物が大好きで、遺跡とかを見るのが好きでした。友達にダムを紹介してもらい、連れていってもらったら本当に楽しくて、その事がきつ

かけです。」と振り返りました。

会の最後には、ダムファンの宇垣さんへ巨大な岩屋川内ダム 50 周年記念「ゴジラ対(ついで)サガ」ver.のダムカードの贈呈を行いました。

「ゴジラ対(ついで)サガ」プロジェクト！夢のコラボレーションが実現

ダムアート制作披露会冒頭では、ケルヒャー ジャパン代表取締役社長 大前 勝己、佐賀県 県土整備部 県土企画課 主査 田中俊匡氏、佐賀県 政策部 広報広聴課 サガプライズ！ プロジェクトリーダー 三島 智子氏が登壇し、今回のプロジェクトについてや、発足のきっかけ、ダムアートに対する思いをお話いただきました。

大前は「世界各国で実施しているクリーニングプロジェクトを、日本において実施するまたと無い機会ととらえ、協力に至った。ドイツ本国から来日している特別チームの洗浄技術により描かれる、このダムアートを制作の過程からたくさんの人に知っていただき、どのようなダムアートが完成するのか期待していただきたい。」と語りました。

続いて、佐賀県 県土整備部 田中 俊匡氏は、「岩屋川内ダムが完成 50 周年を迎えることから、これまでにないような斬新な周年イベント内容を検討していたところ、ケルヒャーが実施しているダムアートを知り、自分からだめもとでケルヒャーに連絡したことがきっかけ。今回のダムアートプロジェクトは佐賀に来てもらい、ダムを知ってもらうまたとない機会であると考えている。ゴジラファン、ダムマニアの方はもちろん、多くの方に来ていただき映える写真を撮ってもらいたい。」と語りました。

また、佐賀県・政策部 三島 智子氏は、「この大迫力のゴジラダムアートが佐賀県の新たな観光の魅力となり、たくさんの方が佐賀を訪れるきっかけとなることを願っている。」と語りました。



世界で活躍するケルヒャー本社の特別チームがダムアート制作パフォーマンスを披露！

ドイツ本社から、『ゴジラ in 佐賀 ダムアートプロジェクト Powered by ケルヒャー』のために特別に編成された洗浄チームを代表し、チームリーダー Nick Heyden(ニック・ヘイデン)より今回のプロジェクトへの思いをお話いただきました。「岩屋川内ダムの50周年を記念した特別なプロジェクトに関わられて光栄だ。チーム全員が来日できて嬉しいと思っている。実は、私たち全員が日本に来るのは今回が初めてなんです。」と述べるとともに、「今までもケルヒャーは数多くのダムアートを手掛けてきたが、世界的に有名な映画のキャラクターを描いたのは今回がはじめて。ダムアートを描く際に最も重要なことは、巨大なダムの壁面に、デザインを忠実に再現することです。そのために、最初に測量チームがダム壁面に正確にガイドとなるポイントをマーキングする。その後、ポイントをもとにデザインの縁取りを描き出す作業を行い、最後に高圧洗浄機を使ったクリーニングでリバースグラフィティとして描き出していく。実は、これまでのダムアートでのマーキングのポイント数は大体 500 程度だったが、今回は 2,400 とかなり多い。その分、壮大なゴジラのダムアートをディティールまで美しく描き出すことができていると思う。」とコメントしました。

大前は、「今回の現場には、ケルヒャーの技術を結集させて、本国と日本とチーム一丸となってダムアート制作にあたっている。」と語りました。

また、地元の小学生からの質問コーナーでは、「高い所で作業する事は怖くないか」という質問に「高さは慣れてしまうと問題無い、過去に100mや150mといった高所での作業も経験しているし、楽しんでやっている。」と、Nick Heyden はにこやかに答えました。



宇垣美里さんがダム愛を初告白！「ダムに来ると自然も一緒に楽しめる」

会は移り、ゲストのトークコーナーへ進みます。ダムカードを集める事の魅力について、「ダムカードの裏面に書かれている、作られた目的の一言を読むのが好き。」と宇垣さんなりのダム好きエピソードを語りました。続いては、今回のプロジェクトは佐賀県にとっても、ケルヒヤーにとってもかなり大規模で挑戦的なプロジェクトだが、今年チャレンジした中で一番大規模な挑戦について、フリップトークで発表いただきました。「コント公演」を行った事と初めて舞台上でコントを披露した時のエピソードを直筆で発表いたしました。



特別にデザインされた巨大な岩屋川内ダム 50 周年記念ダムカードの贈呈

会の最後には、巨大な岩屋川内ダム 50 周年記念「ゴジラ対(ついで)サガ」ver.のダムカードの贈呈を行いました。宇垣さんは感激した様子で受け取り、「これを貰いにきたといったらは過言だけれど、本当に嬉しい」と喜びのコメントをいただきました。



ゲストプロフィール

宇垣美里(フリーアナウンサー・俳優)

1991 年生まれ 兵庫県神戸市出身。2019 年 3 月にTBSを退社し、4 月よりオスカープロモーションに所属。現在はフリーアナウンサー・俳優として、ドラマ、ラジオ、雑誌、広告出演のほか執筆業も行うなど幅広く活躍している。『アフター6ジャンクション2』(TBSラジオ)に月曜パートナーとして出演中。

開催概要

日時 : 2024年11月15日(金曜日)13時00分~14時00分頃(12時30分~報道受付開始)

会場 : 岩屋川内ダム [〒843-0304 佐賀県嬉野市嬉野町大字岩屋川内]

登壇者 : ケルヒャー ジャパン株式会社 代表取締役社長 大前勝己

アルフレッド ケルヒャー SE & Co. KG Nick Heyden(ニック・ハイデン)

佐賀県 県土整備部 県土企画課 主査 田中俊匡様

佐賀県 政策部 広報広聴課 サガプライズ! プロジェクトリーダー 三島智子様

ゲスト : 宇垣美里さん(フリーアナウンサー・俳優)

内容 : 代表挨拶/トークセッション/ケルヒャークリーニングチーム ダムアート制作パフォーマンス/

ゲスト洗浄パフォーマンス/ダムアート紹介/質問コーナー/ゲストトークコーナー /

PRアトラクション/フォトセッション

ゴジラ対(つい)サガ

『ゴジラ in 佐賀 ダムアートプロジェクト Powered by ケルヒャー』について



佐賀県は情報発信による地方創生プロジェクト「サガプライズ!」の企画として、今年70周年を迎える「ゴジラ」と佐賀県の形がほぼ同じ”かたち”で形が対(つい)になっていることから、ゴジラを「佐賀県かたち観光大使」に任命し、2024年10月30日から「ゴジラ対(つい)サガ」を展開しています。その一環として、ゴジラのダムアートを制作。制作にあたってケルヒャーと共同で『ゴジラ in 佐賀 ダムアートプロジェクト Powered by ケルヒャー』を発足。

※ニュースリリースに記載された内容は発表時の情報です。
予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。